

若者を対象とした施策ごとの主な取組と具体的事業について

No	施策名	No	主な取組	No	事業名	事業費(R6) (単位:千円)	対象者	取組・事業概要	担当課
1	若者がつながる、 若者とつながる	1	若者の意識やトレンドに係る情報収集に努めます。	1	-	-	-	若者はスマートフォンにより受け身として情報を収集するのみならず、発信する側にもなっている。そうした情報の収集を全課で努めていく。	全課
		2	若者にとって身近なSNSを活用し、積極的に情報を発信します。	2	SNSを活用した積極的な情報発信	0	SNSをフォローしている市民	現在公式アカウントを市が持つSNS… Facebook,X(Twitter),Instagram,Youtube,LINE ( <a href="https://www.city.oita.oita.jp/shisejoho/kohokocho/koho/account/index.html">https://www.city.oita.oita.jp/shisejoho/kohokocho/koho/account/index.html</a> )	広聴広報課 魅力発信局
		3	様々なイベントの開催等を通じて、市内外の若者同士の交流をはじめ、異なる世代との交流に努めます。	3	大分市ときめき出会いサポート事業	3,283	20歳以上の結婚を希望する独身の男女	婚活におけるスキルアップと意識改革を図るためのセミナー、その成果を実践する場となるイベントを開催する。	生活安全・男女共同参画課 男女共同参画センター
				4	20歳(はたち)のつどい事業	3,721	その年度に20歳になる人で、大分市出身で市外居住の人、または大分市に通勤・通学している人	20歳という人生の節目を迎える方々に祝福と激励を贈るとともに、主体的に行動する市民としての自覚と積極的な社会参画を促す機会とする。また、実行委員形式をとり、開催にあたっての計画、準備、当日の運営を自らが行うことにより、自らのアイデアを「20歳(はたち)のつどい」に反映させるとともに、自らの成長へとつなげる。	社会教育課
				5	大分市青少年「夢ふれあい」交流集会・社会教育振興大会	575	発表者は、中学生や高校生、大学生を必ず入れているが、参加者は青少年の活躍を地域で支える社会教育関係団体その他広く一般市民を対象としている。	ステージ発表や交流会の中で青少年が自らの考えを交流する場や、様々な年代の方々とふれあう機会を提供し、多世代間の交流を図る。 また、社会教育関係団体等の実践や成果等の情報を交換し、学校・家庭・地域の連携を深めることで、青少年の健全育成に関する意識の高揚を図る。	社会教育課
2	若者の声を聴く、 若者の声を反映する	4	アンケート調査等により、若者の意見の収集に努めます。	6	若者を対象としたオンラインによるアンケートの実施	-	若者	庁内各課が必要なアンケートを行う。	全課
		5	若者の目線から市に対して事業やアイデアの提案等を行う若者会議を設置します。	7	若者会議あり方検討委員会	591	若者	プランの評価や、今後の「若者会議」設置に向け、会議のあり方を検討する。  委員数:15名程度(おおむね16歳から29歳までの者) 開催回数:年間5回程度	市民協働推進課
		6	市が設置する審議会等の委員への若者の参画を促進します。	8	市が設置する審議会等への委員への若者の参画	0	若者	審議会等の設置状況の調査の際に、若者の参画状況を調べるとともに、若者参画の促進の啓発を行う。	市民協働推進課
		7	若者に対し、政治や選挙意識の高揚を図ります。	9	新有権者啓発事業	869	18歳	新たに投票の権利を得る18歳の若者に対し、誕生月にパスカードと選挙啓発資料を郵送し、政治や選挙意識の高揚を図る。	選管事務局
				10	大分大学期日前投票所設置事業	236	19歳～22歳(大学生)	大分大学の構内に期日前投票所を設置し、大学生の投票環境の向上を図る。	選管事務局
		11	選挙サポーター	36	おおむね満18歳から35歳までの大分市内に居住する人で、特定候補者や政党その他の政治団体などに関係のない人	選挙に関する事務や明るい選挙の啓発活動に携わる選挙サポーターを随時募集 <a href="https://www.city.oita.oita.jp/o234/shisejoho/senkyo/1268117147324.html">https://www.city.oita.oita.jp/o234/shisejoho/senkyo/1268117147324.html</a>	選管事務局		

No	施策名	No	主な取組	No	事業名	事業費(R6) (単位:千円)	対象者	取組・事業概要	担当課
3	若者のチャレンジを応援する	8	若者が取り組むイベントの開催等に対する活動場所や情報提供など、自主的な活動を行う若者に対する支援を行います。	12	アートレジオン推進事業 (旧小学校を活用したアトリエ運用)	4,605	16歳～30歳 ※上限30歳	周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み、創作活動やアートイベント等を通じて文化・芸術の振興及び地域の活性化を図る。本事業の一環である旧野津原中部小学校のアトリエ運用については、若者へ活動支援として、30歳に達する年度までは無償としている。	文化振興課
				13	高校生限定の「お部屋ラボ 祝祭の広場」無料貸出	2,470	県内の高校に通う高校生	高校生を対象に祝祭の広場の無料貸出を行い、部活動の発表や練習、各種学習等で利用してもらう。 ※対象期間(R6年度):R6/4/1～R7/3/31までの火・水・木曜日 午前9時～午後9時(予定)	まちなみ企画課
		9	若者が起業について学び、実践や相談ができる場を提供することで、若者が起業しやすい環境づくりを推進します。	14	創業者応援事業補助金	28,000	若者(申請日時点で35歳未満)	・創業時に必要な事業所賃借料、改修費などの経費を補助する。 ・若者の補助率を2/3に優遇(通常は1/2)	創業経営支援課
				15	高校生向け起業家育成実践講座2023	245	高校生・高等専門学校生(3年生まで)	産業活性化プラザの主催講座。大分にゆかりのある起業家の講演から起業の心構えや面白さなどを学んだ後、テーマに沿った「アイデアソン」を行う事で実際に起業する際に必要となるチームづくりやマーケティングなどを学ぶ。	創業経営支援課
				16	若手起業家育成事業～オオイタミライビルド～	56,000	主に学生をはじめとした若者(概ね29歳以下)	・起業セミナー～オオイタミライトーク～の開催 ・おおい学生ビジネスプランコンテストの開催 ・若手起業家育成施設～オオイタミライベース～の運営	創業経営支援課
		10	UIターン就職を希望する若者が必要とする情報を提供するなど、若者の市内企業等への就労を促進します。	17	大分市インターンシップ	10	おおむね16歳～22歳 (大学生、短大生等)	学生に市役所での就業体験の機会を提供する。その一環で、令和5年度は若手職員との意見交換会や若者の活躍推進に関する意見交換会(ワークショップ)を実施した。	人事課
				18	大学連携推進事業	0	大学生	大学等と連携して、大分市における地域社会や教育の発展及び中心市街地における新たなにぎわいの創出などを目的とする「サテライトキャンパスおおい」の活用や、令和3年4月に設置した「おおい地域連携プラットフォーム」において、地域課題の解決、地域における雇用創出、学卒者の地元定着率の向上に取り組む。	企画課
				19	ふれあい看護体験事業	500	高校生	市内の高校に通う高校生が、市内の病院等で看護師の仕事を経験する「ふれあい看護体験事業」を大分県看護協会へ委託する。	保健総務課
				20	教育・保育実習	0	学生	公立幼稚園・保育所・認定こども園	保育・幼児教育課
				21	保育士就職支援事業	1,664	保育士を目指す大学・短期大学・専門学校(おおむね19～22歳)	市内私立保育施設が多数集まり、施設の特色等の話が聞ける「保育のしごとセミナー」や、私立保育施設を訪問見学する「保育所等見学バスツアー」を開催する。	保育・幼児教育課
22	就労支援講座			1,650	若者を含む就労希望者	若者を含む求職者を対象に、就労に関するオンライン講座を開催。講座は、概ね4か月間受講でき、その間、就職活動に役立つ実践的な内容など多数あるメニューを受講できるものとなっており、本講座を通して、若者の就労を支援する。	商工労政課		
23	移住者就労促進事業			9,118	16歳～29歳含む全年齢対象	大都市圏で開催される移住相談会に参加するほか、移住ガイドブックの作成、ホームページ「大分市移住応援サイト」の運営及び移住雑誌等での広報などを通じ、UIターン希望者に向けた情報発信を行う。	おおい魅力発信局		



No	施策名	No	主な取組	No	事業名	事業費(R6) (単位:千円)	対象者	取組・事業概要	担当課
3	若者のチャレンジを応援する	11	学生の負担軽減と修学後に大分で活躍する人材の育成・確保を目的に新たな奨学資金制度の導入を検討します。	24	未来自分創造資金(給付型奨学資金)	26,650	高校・高専等に在学する学生(中学3年生時に募集・決定)	学業人物ともに優秀で、かつ経済的理由により修学困難な者に対して資金を給付する。 対象:新1年生100名(予定) 金額:入学時・卒業時 100千円、進級時 50千円	学校教育課
				25	貸与型奨学資金	26,820	大学・短大、高校・高専等に在学する学生(新1年生となる3~5月に募集・決定)	学業人物ともに優秀で、かつ経済的理由により修学困難な者に対して資金を貸与(無利子)する。 対象:大学・短大 新1年生20名 高校・高専等 新1年生10名 金額:大学・短大 45千円/月 高校・高専等 公立10千円/月、私立20千円/月	学校教育課
				26	返還免除型奨学資金	20,500	大学・短大、専修学校の専門課程等に在学する学生(高校等の最終学年時に募集・決定)	将来、大分市において貢献・活躍する強い意志を持っており、かつ、進学にあたり経済的な支援を必要とする者に対して資金を貸与し、卒業後、市内に居住または市内の事業所等で働くことで、貸与した奨学資金の返還を段階的に免除する。 対象:①市内の高等学校等に在籍している者 ②保護者が市内に住所を有し(住民票がある)、かつ、市外・県外の高等学校等に在籍している者 金額:入学一時金 県内進学 500千円 県外進学 800千円 学費(年額) 500千円	学校教育課
		12	様々な資格取得や趣味・実用に関する知識・技能を高めるための学習機会を提供します。	27	大分市クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド2023」	11,192	①大分都市広域圏の中小企業の事業者、大分県内に在住または在勤のクリエイター、大分県内に在住または在学する学生 ②大分県内に住または在勤で29歳以下のクリエイター、大分県内に住または在学の学生	①デザイン経営キャンプ(聴講コース):デザイン経営を実践的に学べるワークショップ形式の短期プログラムを開催。一部ワークショップを聴講できる。 ②次代のクリエイター発掘!ソーシャルデザインプランコンテスト:大分市の抱える課題をデザインの観点で解決するプランを募集し、優れたプランを表彰するコンテストを実施。	商工労政課
				28	市産農林水産物を使った料理教室	100	調理科の高校生	調理科の生徒が、地産地消授業で生産者等からの講義を通して学んだ内容を生かし、市産農産物を使った子どもと保護者向けの料理教室を開催する。	農政課
				29	エスペランサ・コレジオ管理運営事業	9,688	15歳以上39歳以下(高校生を除く、定員に満たないコースは40歳以上も入学可能)	職業的専門的知識や技能の習得、並びにコミュニケーション能力を高め、社会的自立可能な青少年等を育成する。	社会教育課(エスペランサ・コレジオ)
				30	大分市ふるさとコンサート	2,121	16歳~29歳 ※明確な年齢基準なし	国内外で活躍する大分市ゆかりの若手実力派演奏家4組によるクラシックコンサートを実施し、その才能の育成と市民への認知浸透を図る。	文化振興課
		13	様々なイベントの開催を通じて、若者の文化的な活動やスポーツ活動を支援します。	31	のつはる音の森フェスティバル	6,014	16歳~29歳 ※明確な年齢基準なし	市内中学校・高校吹奏楽部や別府アルゲリッチ音楽祭ゆかりの若手演奏家等が出演する野外音楽イベントを開催し、発表の機会の提供及び次代の音楽文化の担い手育成を図る。	文化振興課
				32	大分市生き粋スポーツ振興補助金	4,000	高校生以上	高体連、インターハイ及び全国選抜大会組織が主催する全国大会や、全国規模で行われ地方予選を勝ち抜いて出場する各種競技の全国大会に出場する選手に対して補助を行う。	スポーツ振興課
				33	アーバンフェスタ開催事業	4,000	若者を中心とするアーバンスポーツに関心のある市民等	本市のスポーツ推進における新たな魅力創出として、東京2020オリンピック競技大会で若者を惹きつけた「アーバンスポーツ」の裾野拡大を目的として、各種アーバンスポーツを体験・体感できるイベントを開催する。	スポーツ振興課
		14	市民一人一人が若者の活躍を応援する機運の醸成に努めます。	34	若手・女性技術者を配置する一般競争入札の拡大について(試行)	0	令和5年4月1日時点で35歳以下の若手又は女性技術者	公共工事の品質確保の担い手が中長期的に育成・確保されるようにする取組 以下の対象工事のなかから、案件ごとに判断して設定する ・土木一式工事 設計金額1,000万円以上 ・舗装工事 設計金額500万円以上 ・建築一式工事 設計金額1,000万円以上 ・電気工事 設計金額500万円以上	契約監理課 ・工事入札担当班 ・工事検査室
				35	若年者等就労応援事業	950	市内の事業所で働く概ね30歳未満の若者	市内の事業所で働く若者(30歳未満)がヤングキャリアアドバイザー(講師)となり、市内の中学校において、その仕事に就いたきっかけや体験等を講演する取組。 この取組では、若者自身が仕事を見つめ直すことで長期的なキャリア形成に活かすとともに、中学生の早い段階からの職業意識の醸成を図ることを目的とする。	商工労政課